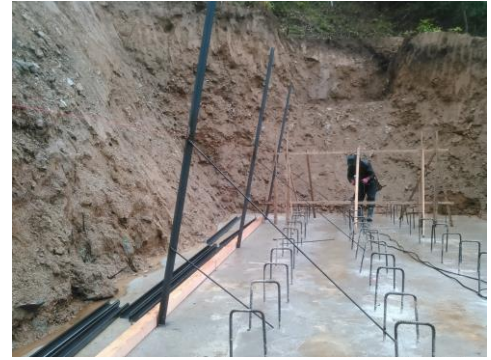


間伐林立フォームレスの施工手順

(1) 縦支保材の設置とタイ材の溶接

縦支保材の固定用アンカーと基礎アンカーを設置します。所定の長さで製作された縦支保材（山形鋼 L-50×50×4）を 3.0m 間隔となるよう設置し、タイ材(D13)を縦支保材と基礎アンカーに溶接します。



(2) 横梁材と間伐材の設置

横梁材（リップ CH-100×50×20×3.2）を縦支保材に溶接し、長さの異なる間伐材を所定の間隔をあけて千鳥に建て込み、コーチスクリューと座金で横梁材に固定します。



(3) タイ材の設置とコンクリート漏れ防止材の貼付

所定の設置間隔にてタイ材(D13)を横梁材と基礎アンカーに溶接し、間伐材の背面に沿わせて、透水性に優れたコンクリート漏れ防止材（パブリックシート）を貼付します。



(4) コンクリート打設

コンクリートが型枠内のすみずみまで行きわたるように、壁面際までしっかり締めます。



(5) 完成

壁面材の設置、コンクリート打設を天端まで繰り返し、完成です。

